

【記入例】 太枠で囲んだところのみ記入する

採用者給料査定書

平成9年1月1日以降の臨時的任用時の職員番号		職員番号 氏名 319367 和歌山 太郎		戸籍上の氏名を正確に記入する。 ※押印は不要		
令和8年4月1日現在の満年齢		昭和・平成 56年 8月 13日生 42歳		正規の修学年数を記入する		
修 学 歴	学校名(学部・専攻学科)	卒業・修了年月	修学年数	学校名(学部・専攻学科)	卒業・修了年月	修学年数
	〇〇高等学校 普通科	H12年 3月 卒・修	3年		年 月 卒・修	年
	〇〇大学 〇〇学部〇〇学科	H17年 3月 卒・修	4年		年 月 卒・修	年
職 歴	勤務場所(職務内容)	期 間	勤続年数	<p>1 職歴は、卒業から令和7年3月31日(令和8年4月以降作成の場合はその時点)まで、途切れることなく記入する。ただし、浪人は職歴として記入する。</p> <p>2 月の途中まで在家庭で、その後、採用された場合、その月は採用の方に入れる。</p> <p>3 月の途中で退職し、その後、在家庭の場合、その月は勤務の方に入れる。</p> <p>4 月の途中で退職し、その月中に再び採用された場合、原則、その月は採用された方に入れる。</p> <p>5 職歴を1枚に記入しきれない場合は、2枚目以降を用意し、続きを記入する。その際、全ての用紙に記入の上、右上をステープラー止めする。</p>		
	浪人	H12年 4月 ~ H13年 3月	1年 月			
	〇〇〇株式会社(正式)	H17年 4月 ~ H21年 3月	4年 月			
	〇〇小学校(講師)	H21年 4月 ~ H21年 7月	年 4月			
	在家庭	H21年 8月 ~ H21年 8月	年 1月			
	〇〇小学校(講師)	H21年 9月 ~ H22年 3月	年 7月			
	〇〇高等学校(非常勤講師 週2h)	H22年 4月 ~ H24年 3月	2年 月			
	〇〇高等学校(非常勤講師 週6h)					
	〇〇高等学校(非常勤講師 週8h)	H24年 4月 ~ H25年 3月	1年 月			
	〇〇高等学校(初任研補充 月1日)					
	〇〇中学校(講師)	H25年 4月 ~ H26年 3月	1年 月			
	在家庭	H26年 4月 ~ H27年 9月	1年 6月			
〇〇中学校(講師)	H27年 10月 ~ R 8年 3月	10年 6月				
合 計		22年 月				

高等学校から記入、大学は専攻学科まで

留年、浪人の期間も職歴欄(1行目)に入れる

アルバイトか正式かを記入する
学生時のアルバイトは記入しない
同時にアルバイトを複数していた場合はどちらか一方を記入する

臨時的任用の場合は講師と記入する

非常勤講師で同じ期間に2校以上勤務した場合

非常勤講師の場合は、1週間あたりの授業時間数を記入する。

月1日の初任研補充も記入する